

S耐シリーズ第5戦 「スーパー耐久レース in 岡山」に 会員6社+事務局が出展



9月1日(日)に決勝が行われたスーパー耐久シリーズ2013第5戦「スーパー耐久 in 岡山」(岡山国際サーキット)

に、当振興会の会員社6社(エイティース、エンドレスアドバンス、オーエス技研、PIAA、ブリッド、ワーク)及び事務局がテントブース出展しました。

岡山国際サーキットは、スーパー耐久レースの前身である「N1耐久」を1992年に初めて開催して以来、毎年耐久レースを開催しており、今年で実に22年連続の開催となりました。

今年のS耐はシリーズ終盤に入ってチャンピオン争いの熾烈さが増しており、シリーズ第5戦は多くのファンの来場が期待されましたが、台風17号の影響により、残念ながら予選及び決勝日とも非常に厳しいコンディションとなりました。

イベント広場に設けられたNAPAC加盟社ブースも絶えず風雨にさらされ、時にテントが飛ばされて破損したり、展示品が水浸しになる等のアクシデントに見舞われましたが、最後まであきらめずにPRしました。

スケジュールの関係で今シーズンのS耐へのNAPAC合同ブースの出展は、11月10日(日)にオートポリスで決勝が開催予定の第7戦のみとなりますが、カーカスタマイズ&アップグレードの楽しさをより多くのユーザーにPRすべく“ゴール”を目指して走り続けます。



岡山国際サーキットでは、スーパー耐久第5戦の予選・決勝の他にも様々なレースが開催され、中でも「GAZOO Racing 86/BRZ レース第4戦」は約60台がエントリーし盛況となりました。当振興会の会員からはブリッド社、スマート社等がエントリーし“真剣勝負”に臨みました。

